

## 日本政府に少人数学級の実現を求める意見書

新型コロナウイルス感染症拡大が、児童・生徒の学校生活に深刻な影響を与えているなか、全国的に少人数学級の実現を求める声が高まって来ており、大きな教育問題となりつつあります。今日まで40年間変わらない小中学校の学級編成を見直す転機にきていると思います。

少人数学級の実現は、新型コロナウイルス感染症予防のためにも必要であり、そればかりか今までもそうでしたが、今回の新型コロナウイルス感染症のため一斉休校になったことにより、児童・生徒の学習の遅れや学力格差が生じたり、精神的ストレスを生じたりと、心のケアを必要とする児童・生徒が出てきているという問題が鮮明になりました。このまま40人学級で教育を推進して行くならば、ますますこの現象は大きくなっていくことは目に見えています。

そこで、40人学級編成を見直し少人数学級編成にし、3密を避けた方が良いということと、そのことにより担任の先生が児童・生徒の学習理解を丁寧に把握でき、また、学習した内容を正確に定着していくことができます。

さらに、児童・生徒とのコミュニケーションをする機会が増え、心のケアも同時にすることができることにつながっていくことと思います。

よって、一刻も早く小中学校の40人学級編成を見直し、少人数学級編成の実現を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

内閣総理大臣  
財 務 大 臣  
文部科学大臣 宛

千葉県我孫子市議会